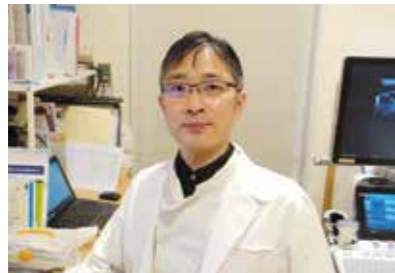


連携医院のご紹介

今回は、広島市西区で「地域のかかりつけ医」として総合的な診療を展開されている川口クリニックの川口 康夫 先生にお話を伺いました。



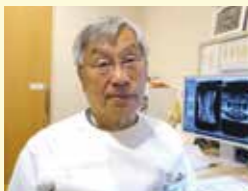
川口康夫 院長

川口クリニック

〒733-0822
広島市西区庚午中3丁目6-11
電話 / 082-274-6655
院長 / 川口 康夫
診療科目 / 内科・外科・肛門外科



外観



川口正晴名誉院長



川口幸子先生

○開業されてから今までのことを教えてください。

2003年西区庚午に川口クリニックとして開院いたしました。2007年医療法人化し、2018年から医師3人体制とし、2021年10月より院長を交代し川口康夫が施設管理者となっております。

○クリニックの特徴を教えてください。

当院は「地域のかかりつけ医」として幅広い窓口になれるよう医師が外科・内科系を問わず「総合診療」にあたっております。ときに遭遇する重症・悪性疾患を見逃さないように気を配っております。そのため、ご来院いただく患者様は小さなお子様から高齢者様まで、対象疾患は生活習慣病からがんまで様々です。専門的な治療が必要な場合は迅速に治療に結びつくように県立広島病院などの基幹病院と連携をおこなっております。私自身の話になりますが、甲状腺疾患の治療を専門にしておりますので、橋本病やパセドウ病などの機能性疾患の治療から、甲状腺腫瘍・甲状腺がんの診断まで、専門的な診療を提供しております。

○毎日の診療で大切にされていることや、やりがいは何ですか？

クリニックの特徴でも申し上げましたが、やはり「総合的に診療をおこなうこと」を大切にしております。様々な症状で来院される方々が、適切な治療に結びつくように努めてまいります。

以前、腰痛を訴えて患者様が受診されました。すでにMRI検査を受け、手術予定とのことでしたが、持参された画像所見に違和感がありましたので、患者様と相談して、直腸検査を行ったところ前立腺がんを発見しました。痛みの原因が前立腺がんの腰椎転移であることを突き止めて、無用な手術を回避することができました。

したが、持参された画像所見に違和感がありましたので、患者様と相談して、直腸検査を行ったところ前立腺がんを発見しました。痛みの原因が前立腺がんの腰椎転移であることを突き止めて、無用な手術を回避することができました。

専門的診療と同時に、今後「総合的に診療をおこなうこと、からだ全体を診ること」を大切に、地域の方々が安心して生活ができるような診療を続けて参りたいと思います。

○県病院はどんなところですか。

救急医療が必要な患者様を、いつも快く引き受けてくださっています。あらゆる診療科があることも頼もしく感じています。近年のトピックスとして、最先端医療の1つ、ダヴィンチを使用した手術について、開業医向けに、研修会を開催していただき勉強になりました。

○その他

患者様の病状は、時を選ぶことができません。そのため、週末にかけて、病状がすぐれない方が来院されることが多くあります。緊急搬送が必要な時、県立広島病院のスタッフの方々には、いつもお世話になっており、感謝しております。

【取材後記】

午前中は、土谷総合病院で甲状腺の手術を終え、午後診察の忙しい時間帯に取材に応じて頂きました。名誉院長であるお父様にも挨拶をさせて頂きました。お忙しい中、誠実に対応してくださり、ありがとうございました。

もみじ



県立広島病院 ☎082-254-1818 (代)
〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号



理念：患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします。



専門診療医による得意治療を紹介いたします。

新型コロナウイルス感染症

呼吸器内科



呼吸器センター長(兼)
呼吸器内科 主任部長
石川 暢久

◆新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症(以下:COVID-19)は、COVID-19がヒトに感染することによって発症する呼吸器感染症です。2020年1月30日に世界保健機関(WHO)はCOVID-19に対して「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言しましたが、2023年1月15日時点の報告では、全世界における累積感染者数は6億6,200万人、累積死者は670万人を超えています。県立広島病院は重点拠点病院として、2023年3月31日までに2,100人以上のCOVID-19の入院治療を行ってきました。この3年の間にワクチンや新たな治療法が普及し、ウイルスの変異が起こったなどの理由によって、人工呼吸器を要するような重症者数は少なくなってきており、世界的にCOVID-19に対する対策が緩和されてきました。WHOは2023年5月5日にPHEICの宣言を終了し、厚生労働省は令和5年5月8日にCOVID-19を「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)」から季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に移行しました。



昨年のワクチン接種の様子(当職員)

◆COVID-19の位置付けが5類に移行することによって何が変わる?

医療提供体制については、発熱外来や指定医療機関による限られた医療機関による対応から、幅広い医療機関による通常対応に移行し、感染症法に基づくCOVID-19症例の入院措置・勧告、外出自粛要請などの行動制限がなくなります。これまで広島県が行ってきた入院調整は医療機関で連携して行うことになり、宿泊療養施設や無料のPCRセンターは廃止されます。医療費、ワクチン接種などの医療費の公費負担については、段階的に縮小する見込みです。患者の発生動向等の把握は全数把握から定点医療機関による新規感染者数の報告が基本となります。濃厚接触者は保健所から特定され、法律に基づく5日間の外出自粛が求められていたのですが、今後は濃厚接触者としての特定がなくなります。「マスクの着用」、「三つの密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」、などの基本的な感染対策については有効であることには変わりはありませんが、個人や事業者の判断に委ねることになります。

基本的な感染対策は有効です!

◆新型コロナウイルス感染症 5類移行後の主な変更点

	見直し前 新型インフルエンザ等感染症(2類相当)	2023年5月8日以降 (5類感染症)
医療機関	発熱外来や指定医療機関	幅広い医療機関による対応
行動制限	できる	できない
入院調整	広島県	医療機関で連携
宿泊療養施設	あり	なし
PCRセンター	あり	なし
医療費	公費負担	段階的に縮小
感染者の把握	全数把握	定点把握
濃厚接触者	5日間の外出制限	濃厚接触者としての特定なし
感染対策	基本対処方針やガイドラインによる対策	個人や事業者の判断



県立広島病院からのお知らせ

6月のがんサロン

- 開催日時 令和5年6月21日(水) 14:00~15:00
- 場所 新棟2階 研修室及びオンライン
- テーマ 『泌尿器のがん』
- 講師 泌尿器科 主任部長 / 梶原 充 医師
- 対象 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族(当院受診歴不問)

申し込み方法・お問い合わせ

右の二次元コードか、下記のメールにて、お申込み下さい。



がん相談支援センター
☎082-256-3561
hphchiikirenkei@pref.hiroshima.lg.jp

◆5類に移行後の医療施設での対応

新型コロナウイルス感染症（以下：COVID-19）に対する院内感染対策は簡素化に向かうものと思われます。COVID-19 確定症例、疑い症例の対応時における個人防護具の対応については、サージカルマスクは今後も常に着用する必要があります。ゴーグル・フェースシールドは患者さんがマスクできないなどの飛沫のリスクのある場合、手袋とガウンは患者さんおよび患者周囲の汚染箇所に直接接触する場合には装着します。N95 マスクは検体採取やエアロゾルの発生する手技を実施する場合や激しい咳のある患者さんや大きな声を出す患者さんに対応する場合に装着します。

サージカルマスク	フェースシールド/ ゴーグル	手袋・ガウン	N95 マスク
			
今後も常に装着	飛沫リスクがある場合	汚染箇所に直接接触する場合	激しい咳のある患者さん対応などの場合

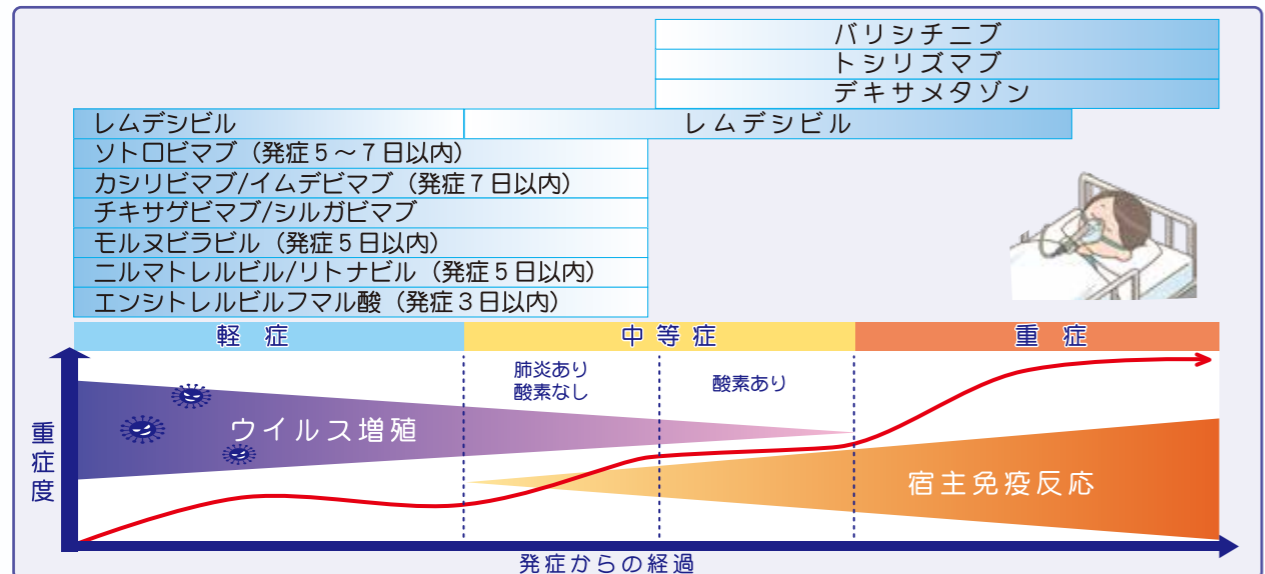
◆COVID-19 の治療法

COVID-19 発症後数日はウイルス増殖、発症後約1週間後からは宿主免疫による炎症反応が主な病態と考えられており、発症からの日数、重症化リスク、重症度、患者の希望を考慮して、治療法を選択します。

重症化リスク因子のない軽症例の多くは、特別な治療によらずとも自然に治癒するために、その場合には経過観察のみ、または解熱鎮痛薬や鎮咳薬などの対症療法を必要に応じて行います。発症から3日以内で重症化リスク因子がなく、発熱、咽頭痛、咳などの症状が強い軽症患者では、エンシトレルビルの投与も考慮されます。重症化リスクが高く、発症から5日以内で病状の進行が予測される場合には、抗ウイルス薬（レムデシビル、モルヌピラビル、ニルマトレルビル/リトナビル）の投与が考慮されます。抗ウイルス薬の中のどれを選択するかは、妊娠の有無、腎機能、常用薬、点滴可能かどうか、変異株の流行状況をみて判断します。レムデシビルは点滴投与が3～5日間必要ですので、入院した際に用いられるのが一般的です。中和抗体薬はオミクロン株以降の株では効果が減弱しているために、抗ウイルス薬が使用できない場合に検討すべきです。

ワクチンの普及やオミクロンの感染拡大に伴い、現在では成人では典型的なウイルス性肺炎を呈する患者が大幅に減少しましたが、65歳以上の高齢者では、衰弱、誤嚥性肺炎、せん妄、うっ血性心不全などの多様な理由で入院治療が必要となることがあります。高齢者以外の重症化のリスク因子のある症例も、診察時は軽症と判断されていても急速に症状が進行し、入院治療が必要となることがあるので注意が必要です。呼吸不全がウイルス性肺炎による場合にはステロイド薬（デキサメタゾンなど）の投与が推奨されます。その際、レムデシビルとの併用が望ましく、バリシチニブやトシリズマブが用いられることもあります。

◆COVID-19 の重症度と治療の考え方



COVID-19に対する薬物治療の考え方 第15.1版 (2023年2月14日)

外科医の独り言...no.140

— 研修医チャット君 —

先月号で、米オープン AI 社が開発した対話型人工知能（チャット GPT）を取り上げ、「外科医の独り言」の代筆には使えないと書いてしまいましたが、今朝の新聞に、なんと最新版の GPT-4 を使って最近5年間分の日本の医師国家試験の問題を解かせたところ、すべて合格ラインに達した、と取り上げられていました。ただし、本物の医学生平均点より100点低かったとか（ギリギリ合格点ということ）、妊婦には使用してはいけない薬を選択したとか幾つかの問題点も指摘されていました。そうは言っても合格点が取れたということは事実であり、これから毎年新しい知識がどんどん詰め込まれていくので、現役医学生を追い越すのも時間の問題です。今回医師国家試験問題で合格点を叩き出した対話型人工知能（チャット君と呼ぶことにします）が、実際の医療現場でどんな活躍してくれるのか、あるいはこのチャット君がどんなトラブルを起こす可能性があるのか、院長目線で想像してみることになりました。ちなみに、チャット君はかつて米国の司法試験にも合格した実績があり、日本でも数少ない医師と弁護士の掛け持ちも可能です。

チャット君が医師としてのキャリアをスタートするには、まず2年間の初期臨床研修を受けなければなりません。県病院の初期臨床研修医の試験は小論文と面接であり、これはチャット君の最も得意とするところであり、予想通り楽々乗り切りましたが、履歴書の経歴（学歴）、趣味・特技、家族欄のみならず現住所、生年月日も空白であり、せめて趣味・特技だけでも書いてもらうこととしました。特技は、24時間365日働き続けることができることだそうですが、医師の時間外労働削減が叫ばれている昨今、労働基準監督署に目を付けられること必至なので空白のままにしてもらいました。

研修医チャット君は、まだ歩行可能なロボットに搭載されていないので、意のままに院内を

移動することができません。これではちゃんとした研修ができないので、他の研修医に交替で背負ってもらって業務に当たり、いわゆるハイブリッド研修医として働いてもらうこととしました。かなり重いチャット君を背負わされる研修医にはそれこそ重い負担になることを危惧していましたが、チャット君から背中越しに的確なアドバイスがもらえるので意外と研修医には好評で、毎朝チャット君担当をめぐって研修医間で喧嘩になることもあったと聞きました。

さて、研修医チャット君は救急外来で急患を診ることになりました。チャット君は会話できますが、患者さんを触診して身体所見を取ることができません。そして、採血も自分ではできないので相方の研修医に任せました。さて、身体所見と血液検査の結果を取り込んだチャット君は、瞬時に病名がひらめき相方の研修医と患者さんに伝え、これからの治療や見通しについて、わかりやすく丁寧に説明しました。チャット君が相方の研修医に背負われた格好で説明する姿はあたかも二人羽織みたいで、患者さん、家族にも好評でした。もちろん患者さんからの質問にも的確に答えることができました。でも、相方研修医にとっては時に自分の立場を見失い、チャット君に頼ってばかりで、いつまでたってもひとり立ちできない自分に苛立ち、時に患者さんとちょっとしたトラブルになることもあるようです。ただし、幸か不幸かチャット君は弁護士資格も持っているので、こうしたトラブルも容易に解決してくれます。めでたし、めでたし。以上、「外科医の独り言」というよりは妄想でしたが、近未来に起こり得る話かもしれないかもしれません。しかし、残念ながらチャット君が手術をしているイメージは湧いてきませんでした。

院長/板本 敏行



ご意見箱

地下の駐車場階段からの異臭でむせました。

地下駐車場から階段を上っていると、灯油のような油の強いニオイを吸い込み咳こんだ。地下施設の換気はどうなっているのか。

貴重なご意見をありがとうございました!!

オイル臭は、地下にあるゴミ置き場の回収車による排気ガスが原因でした。当院の地下駐車場に給気・排気両方の設備がありますが、回収場所が排気口から離れている為、排気ファンを作動させても、排気ガスが階段室から上方に漏れ出ている状況です。当面は、回収作業の時間帯を午前中から比較的来院者の少ない午後に移しました。来院の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。